「自主、自立、自信」子供のやればできるの体験を支える学校づくり

いずかし

R７年7月16日
文責：校長

一学期終了

思い出に残る37日間に

子どもたちが楽しみにしている夏休みがいよいよ始まります。入学式や始業式がついこの前のことのようで、月日が経つ早さを改めて感じています。

週末から37日間の夏休みに入ります。7月に入って全国各地で水難事故が発生し、尊い命を失う報道を耳にします。ご家族の悲しみを思うと言葉が見つかりません。昨年一年間の水難事故による死亡者は七九四人だったそうです。水難事故だけでなく交通事故に巻き込まれたり、通り魔的な犯罪被害に遭う事件も後を絶たず、子供たちの安全な暮らしが脅かされるようになってきました。夏休み中の子どもたちの生活を心配しているところですが、安全に過ごすためには最低限、「夏休みのくらし」に書いてある内容をしっかり守ることが大切です。保護者の皆様の声かけと見守りをどうぞよろしくお願いいたします。

そしてこの夏、やりたいことにたくさん挑戦して、一回り大きくなって二学期元気に登校してほしいと思います。

夏休み中の地域行事

〇ふるさと祭り植柳盆踊り

8月14日（木）に植柳校区の皆さんが楽しみにしている「ふるさと祭り植柳盆踊り」が開催されます。会場は植柳小学校の運動場で、今年度もいろいろな催しが企画されています。

〇ＰＴＣＡ清掃活動

8月3日（日）にＰＴＣＡ清掃活動を予定しています。当日は、地域の皆さんも裁柳園の美化作業に取り組まれます。ご協力のほど、よろしくお願いします。

◆日時：8月3日（日）
6時30分～8時終了予定
※雨天時は、学校安心メールでお知らせします。

絆を深めた二日間

7月10日（木）から二日間、5年生は水俣に学ぶ肥後っ子教室・集団宿泊教室に行きました。

一日目は水俣環境センターにおいて語り部さんの講話を聴いたり、水俣病資料館の展示物の見学、環境学習を行いました。

先日、大手の塾が水俣病について誤った情報を掲載したテキストを使用して、指導を行っていたと報道がありました。本当に残念なことです。植柳小の子供たちはにしっかり耳で聴いて目で見て正しい知識を身に付けてほしいと思います。

あしきた青少年の家では、一泊ですが、役割を分担して共同生活を進めていきました。施設の方々へのあいさつなど態度がとてもよく過ごすことができていました。

この施設一番の活動プログラムであるペーロンでは、艇長が打つ銅鑼に合わせて声を出し、みんなで協力してペーロンを進めていました。はじめはなかなか進まなかったペーロ艇も、徐々にスピードが増して進んでいました。この二日間の経験は、これからの学校生活にきっと役立てることができると思います。

閉庁時の緊急連絡について

夏季休業期間中、児童の事故やけが、その他、連絡が必要な場合は学校までご連絡ください。

なお、夏季休業中の8月12日（火）から15日（金）までの間、学校が閉庁となります。閉庁期間前に学校から緊急連絡用のメールを配信しますので、週休日及び閉庁期間中など、学校の閉庁時に緊急に連絡する必要がある場合は、メールの内容を確認していただき、お知らせください。

スクリーンタイム調査

学校だより8号で、子供たちの体力低下の要因としてスクリーンタイムの増加が影響していないかという話題を出しました。スクリーンタイムとはスマホやタブレット、ゲーム機などの情報通信機器を使っている時間を指します。全国の小学生のデータでは**男子は一日5時間以上の小学生が18・5％、女子は14・5％で男女とも年々増加し続けているそうです。**このスクリーンタイムが長いほど体力合計点数が低いという傾向もみられたという話題でした。

私は、その増加によって体力低下だけでなく、学習時間はもとより、本を読んだり、興味のあることに時間を使ったり家族と会話をしたりする時間が削られ、心身の豊かな成長を阻害しているのではないかと日頃から心配していました。

そこで、植柳小の子供たちの実態を調べ、改善すべき点を明らかにして保護者と協力して改善したいと考え同アンケートを実施するとにしました。2年生以上の子供たちは、個人のタブレットで回答をしていますが、1年生はまだ慣れていませんので保護者の方に回答をお願いしているところです。

皆様と連携協力して子供たちが時間を有効に使い、心身ともに健康な日々を過ごし生き生きと生活できる力を身に付けることを願っています。ご理解とご協力をよろしくお願いします。